

静かな空

連絡先 742-2513 山口県大島郡周防大島町森 365 中尾久利 Tel & Fax: 0820-78-1246

艦載機移駐完了 硫黄島の FCLP が大島まで

5月8日、硫黄島でFCLP（空母離着陸訓練）が実施され、それとの関係で、岩国基地でも2-3分間隔のタッチアンドゴー訓練飛行が行われました。タッチアンドゴーとは、2～3分間隔で艦載機が大島上空から基地にむかって下降し、車輪が滑走路に触れると、停止しないで再び廿日市方向にむかって離陸する、激しい爆音が繰り返される演習です。

とうぜん周防大島町でも、2～3分間隔でスーパーホーネットの激しい爆音が上空を支配しました。周防大島町役場に、岩国基地へ抗議するようにと電話しましたが、電話抗議する間も、電話を通して役場職員に爆音が聞えました。岩国市のデータによると、この日1日の騒音飛行回数は、滑走路が沖合移設(2010)されて以後初めて、200回にのぼりました。市民の苦情電話は、8日だけで176件、1998年1月以後、最も多い苦情電話でした。『中国新聞』5.9この岩国基地のタッチアンドゴーを観測した戸村良人さんが、5月9日に文珠山にのぼり、爆音飛行の状態を観察しました。戸村さんからの電話によると、山頂に到着した11:00から15:30の下山まで4時間半、文珠山上空を艦載機が飛行した時刻と機数は以下のとおりでした。

11:03 2機	13:04 基地から北へ 2機離陸	15:03 2機
11:05 2機	13:35 基地から北へ 9機離陸	15:07 2機
11:08 2機	14:10 1機	15:08 KC130J
11:27 U-36A(自衛隊機)	14:19 1機	15:11 1機
12:10 3機	14:25 C-40A 兵站輸送機	15:13 3機
12:12 2機	14:29 2機	15:15 KC130J 2機
12:13 2機	14:50 1機	15:27 EP-3 (自衛隊機)
12:21 1機	14:52 1機(空中給油機)	
12:25 2機	14:55 2機	(大部分がスーパーホーネット、グラウラー)
12:29 1機	14:57 1機	
昼休み	15:02 2機	

飛行間隔2～3分というのが多く、これは厚木基地で行われたFCLPと同じ飛行です。あるいは、硫黄島のFCLPが終わった飛行機が岩国へ帰着したのがこの飛行なのかもしれません。今後この爆音飛行が頻繁に行われます。



スーパーホーネット E2機



グラウラー 3機



スーパーホーネット E2機



スーパーホーネット E



スーパーホーネット F



空中給油機 KC130J



スーパーホーネット



グラウラー3機

戸村良人のホームページ<行動の写真集 5月9日>から

「中国新聞」の調査によると、移駐前の昨年11月と移駐後の今年4月を比較すると、米軍機の週間飛行回数が2.6倍に増加しました。(中国 5.31)

米軍部隊の岩国移駐が完了

極東最大の航空基地に？

中尾久利

4月1日(日)、朝日新聞第1面に、“米軍機130機が移駐し、極東最大の航空基地に”という大きな見出しがでました。岩国基地および周辺一帯はこれから、騒音被害や米兵による各種事故・犯罪に苦しまなくてはなりません。在日米軍再編計画とは何なのでしょう？ 今日はこの問題を考えてみましょう。米軍の世界再編(湯浅一郎氏解説)は、2003年11月、当時のブッシュ大統領の宣言によって始まりました。米ソ冷戦終結で経済のグローバル化が進み、地球上いたるところに浸透する米国の権益を守るには、世界のあらゆる地域での脅威に、いつでも対応できる軍事基地の展開が必要です。そういう軍転換の必要性を大統領が宣言しました。在日米軍の再編もここから始まります。

ブッシュ政権は五つの原則を打ち出しました。まず、米ソ冷戦時代と異なり、いつどこで何があるかわからない不確実な時代に対処するため、柔軟性と機動力を持った基地の展開が必要だとし、迅速な展開能力の発展を原則の第一としました。

第二に、冷戦時代には北東アジア及びヨーロッパに、大きな基地を置いて対応するという戦略でしたが、特定地域に焦点をあてる対応ではなく、地球規模の部隊運用をしていきます。そのため同盟国と目している国の役割を強めます。とりわけ日本には海外任務も本来の仕事と位置づけるよう強く要請します。その流れの中で日米ガイドラインを見直し、安保法制をつくってきた経過があります。そこでの基本的考え方が「蓮の葉戦略」です。

カエルがそれぞれの大きさの葉っぱの上をはねるように、地球上に大・中・小の基地を配置し、柔軟かつ機動的に対処できる基地ネットワークをつくらうとしました。大にあたる基地は常駐部隊がいて、インフラがそろった主要作戦基地と位置づけます。日本と韓国にあった米軍基地は、冷戦時代に対ソ包囲網の一環としておかれましたが、そのまま主要作戦基地に流用されました。韓国の米軍基地は陸軍と空軍が主で、それらはもともと朝鮮半島有事のための基地でしたが、中東で何かがあっても、韓国の米軍基地からいつでも派遣できるよう、思想と態勢が変わりました。

二つ目は、中ぐらいの葉っぱにあたる前進作戦地です。常駐部隊がいるわけではないが、いつでも使える滑走路が一本あり、そこにローテーションで部隊が移動します。オーストラリア、東欧、中央アジアあたりにそういう前進作戦地的な、中ぐらいの葉にあたるものを作ります。

三つ目は、港を自由に使える程度の安保協力地点です。最初はフィリピンから始まり、インドネシア、ベトナム、シンガポール、インド等に米軍艦船がいつでも出入りできるよう、安保協力協議を進めます。

世界にこうした大・中・小の基地を配置していくという戦略が進行しています。在日米軍は、その中で最重要のものと位置づけられていきました。

解説の一部を紹介しましたが、日米安保条約でアメリカは日本を守るのではなく、米国の権益を守るのです。私は自衛隊に反対はしません。専守防衛は独立国の権利であり、災害等で国内各地で活動するのは国民としてとても頼りになります。しかし憲法9条を改正して米軍と共に世界の紛争地に展開するのはアメリカの再編計画の一部であり、米軍は自衛隊を引き連れて地球上の紛争地に展開し戦争をしかけます。日本国民はそのようなことは望んでいません。

今国会で来年度の予算計画が論議されていますが、防衛費は5兆数千億円、生活保護は削減されて、180億円あまり減額されました。戦闘機FA35を1機削減すれば、生活保護費を削減しなくてもすみます。予算の組み方しだいではないでしょうか？ パソコンを打っている今、頭上を米軍機が轟音をあげてとびかっています。わずかな再編交付金で、この空を米軍機に明け渡していいものなのでしょうか？ 私はこの空を静かな空にするために、「大島の静かな空を守る会」と「瀬戸内ネット」の皆さんと共に闘っていきます。

自衛隊が購入する F35A 戦闘機（42 機を購入）

開発国	米国 英国 イタリアなど 9 カ国
大きさ	全長 約 16m 全幅 11m
最大速度	マッハ 1.6
単価	180 億円（陸海空海兵隊で単価異なる）
日本の導入計画	老朽化した F4 ファントム戦闘機の後継機
航続距離	約 2200K
特徴	高いステルス性と情報ネットワーク機能からなる高い戦闘能力をもつ。

コストも膨大です。今後 30 年間、42 機の維持にかかる総経費は約 2 兆 2 千億円。政府が検討する敵地基地攻撃能力を具体化するならば、さらに負担は膨らみ、私たち国民の税負担は避けられません。

議会での議員発言

◎周防大島町議会 2017 年 12 月

久保 雅巳議員（発言要旨）移駐により騒音の拡大や事故が増える、米国軍人による犯罪も増えるといった強い懸念があり、米軍再編に係る情報提供が不足とのお叱りの声が、私のもとへ届いている。町執行部、議会の責務である。騒音被害の地域は拡大する懸念を持っている。騒音が拡大すれば窓を閉め切り、熱中症になる確率が高まる。エアコンを設置してはどうか。（2018.3.14 発言要旨）

＞空気爽やかな大島で、エアコン付けて窓を閉め切ること自体が異常く

藤本 浄孝議員（発言要旨）周防大島町議会は移駐容認の判断をした。小松・屋代地区の騒音が、かねてより大きい。東屋代地区は三方が山に囲まれ、航空機が真上を通過し、山で騒音が大きく反響する、保育園児は騒音が怖いと口にし、早寝のお年寄りには寝られない。地域での騒音状況の聞き取り調査やアンケート、意見交換、地域の自治会や地域の方へ協力要請が必要。騒音が地域によって度合いが違う。

総務部長 中村 満男 自治会連絡協議会、自治会連合会で意見を聞きたい。

＞米軍機が 2 倍に増えた現状の調査、デシベル騒音測定機の設備が必要く

周防大島町議会 2018 年 3 月

田中豊文議員（「議員だより」Vol.6 から）艦載機移駐に伴い、事故の危険性が高まるのは当然で、万一の事故の際への危機管理の実態と騒音対策について、主に被害データの収集の必要性と手法について質しました。信じがたい事ですが、事故の際の対策は何も考えておらず、国に安全対策を求めるのみという消極的な答弁でした。騒音対策については、総務課に苦情窓口を設けているとの事ですが、ホームページやファックス等を利用した主体的な情報収集を行い、騒音被害

が顕著な場所で、騒音測定機によるデータ収集を行い、対策を要望していくなど、主体的な取り組みが必要です。国任せの消極的な答弁では、町民の安心安全を守る気が無いといわれても仕方ありません。

>米軍機事故は考えていないとか。文珠山の米軍機墜落（1971）を忘れたか。騒音被害のデータはW値でなく、デシベル騒音測定機が必要。岩国市同様、町が設備すべきである。岩国市は 70 デシベルの音が5秒間続くと「騒音」として記録する（中国4.21） <

◎**岩国市議会 田村順玄議員**（「おはよう愛宕山」No.557 から） 今年になって、自衛隊や米軍の事故が相次ぐ。どの事故も岩国基地と何らかの係わりがあり、岩国で起こらなかったのが幸いと言うくらい岩国市民はこうした事故と同様のリスクを持っている。その上、昨年秋移転してきた空母艦載機の爆音は最近異常で、町で顔を合わせば、「基地の飛行機がうるさくなった」と言い合うのが挨拶代わりになっている位だ。

それもその筈、田村議員が参加している「リムピース」という市民団体が入手した資料によれば、厚木基地にいる空母艦載機の飛行回数が半分以上減ったことが判った。つまり、それはみな岩国で飛んでいる、岩国がうるさくなっているのである。質問ではそうした爆音の対策や安全対策で市の対応を質す。

>岩国市民がおとなしいから基地爆音は変化ないのかと思ったが、爆音は激化し、米軍機事故の増加にもおびえている。厚木基地問題がついに岩国へ来たたく

◎**山口県議会 井原すがこ議員**（「県議会報告 2月定例会」から）

（質問） 基地の「航空運用マニュアル」と日米協議会の確認事項には、飛行禁止となる祝日の範囲などに食い違いがあります。早急に日米協議会を開催し、確認事項の見直しを行うべきです。

（答弁） 確認事項は紳士協定のようなもの。米軍は運用マニュアルとは別物として尊重するとしていますので、両者を一致させるなど特段の対応が必要とは考えていません。日米協議会の開催については岩国市の意向を尊重します。

>「日米協議会」の「確認事項」は「紳士協定」だから「運用マニュアル」とは一致しなくていいのか。マニュアル無視の確認事項に拘束力があるのかく

小学校の校庭に米軍機のドアが落ちてきた

昨年12月、普天間飛行場に近い普天間第二小学校の校庭に、米軍機のドアが落下しました。このドアは、事故が発生したときに、飛行兵士が緊急に逃げ出せるように、簡単に外れる仕組みになっているのです。ドアが落下したとき、落下点近くで児童たちが体育をしていました。もし児童の上に落下したら悲惨な事態でした。その後、この小学校では、体育中に米軍機が飛んできたら、児童全員

に校舎の中に避難させています。校舎内への緊急避難は1日 20回以上、3か月間 360回も避難しました。(朝日 5.10) 大島郡では毎日、三蒲小学校や住宅地域の上空を米軍機が飛行しており、1971年に文珠山に墜落しました。ドアや部品が落下して人身事故が発生したら、移駐を容認した周防大島町長はその責任をとれるのでしょうか。

板門店宣言 ☆ 南北朝鮮再統一への道

2018年4月27日、韓国文在寅大統領と北朝鮮金正恩委員長が直接に会談し、「板門店宣言」に署名しました。宣言は「朝鮮半島にもはや戦争はなく、新たな平和の時代が開かれた」とのべ、「段階的に軍縮を実現していくことにした」と明記しました。宣言はドイツ再統一以来、世界で唯一残っていた分裂国家を再統一する指針であり、日本の米軍基地縮小の進路も示唆しています。

さらに北朝鮮は5月24日、北部にある核実験場を爆破して、韓国や米国が要望する「非核化」実行の意思を表明しました。核の完全廃棄まではまだ時間がかかるでしょうが、南北和平の意思表示の第一歩とはいえるでしょう。

私たちは南北朝鮮両国の勇気ある取り組みに敬意を表します。ここで安倍政権がアメリカに追随して「北朝鮮に圧力をかけながら交渉する」と言っているだけでは、アジア諸国の外交で日本が「カヤの外」におかれるだけでしょう。近年、全国を対象に「Jアラート」という不気味な警報が行われています。北朝鮮のミサイルが日本上空を越えた時が最初だったかと思えます。まさに戦時中の「空襲警報サイレン」を思わせる警報でした。朝鮮半島の平和的協調を応援しないで「ミサイル空襲警報発令」では、行く方向が逆でしょう。もう「呉地区空襲警報発令！」はご免こうむりたいものです。日本は、南北朝鮮がアメリカのご機嫌伺いをしないで独自に交渉するよう、声援すべきです。

向こう3年間、上関原発建設工事は難しい

国の「エネルギー基本計画」で、「主力電源」は原発以外の発電とする方針が明記され、原発の新規設立のことは書かれなかった。これで中電の上関原発の建設は、すくなくとも3年間はできない見通しになった。福島原発の事故の影響が大きいと考えられるが、住民・県民からの強い反対運動の影響も大きい。しかし3年後のエネルギー基本計画でどうなるかは未知なので、上関原発反対運動は、原発設立中止を決定することを求めている。(中国 4.11)

定例会議 記録

日時 5月26日(土) 13:00-15:00

場所：藤村邸

1 艦載機移駐後の爆音：ケタ違いに大きい。飛行方向が変わった。家の真上をとぶ。

爆音測定器 町にデシベルで記録する機種を購入させる。町議会に請願か。一定数署名も。

“内閣調査室からお電話がありました”

私が生きた日本現代史（その 3）

河合建夫 談

藤村友起 記録



<広島にあれを買いにいったっていうのは終戦後・・・>

4年生ぐらいのときから絵の具使いだした、クレヨンから絵の具にね。その時に、広島へね。お袋とおやじとわたくし 3人がね、機帆船で。たくさん行ったんですが、原爆ドームの近くへ停泊して、福屋行ったんだよ、ほで

ね、わしが福屋まで歩いた道のりは焼け野原ちゅんか、ほの記憶がひとつもないんよ。福屋はちゃんともう営業してたん。福屋の何階かで、筆軸、筆を一本、恐る恐る親に言うたら、「うん」で、簡単に買い与えてくれた。

高等学校一年でやめて、半年くらいぶらぶらへよって、へから東京へ、姉方行ったんよ。「近代デザイン社」つうところで、6人のところでやり始めてから、安保条約の、わーわー騒然としてたよね。デモの最中に「おーい、女学生が死んだ、殺されたぞー！」てから、「えー、デマだろうそれ」つて（笑、茶をすする）。樺美智子が死んだ、あの最中に死んだよね。デモ隊が延々と続いとるじゃん、後ろのほうから、「女性が殺されたぞー！」て叫ぶ奴がおった。

うんと後日の話じゃが、共産党の志位委員長がなりたての頃、自分がちいさい時ね、親にくびまわしされて、安保条約反対のデモへ参加したと。

<あ、肩車された> うん肩車されて。「えー、あの時にくびまわしされちゃったの、あれが志位委員長じゃったんかあ」と。「くびまわし」（肩車）。ほんな肩車してデモやってる人、だれもおらんもん。じゃから突出しとるよね、子どもが。

「首馬」じゃけえ背が高いじゃん、どこでもこう見えるじゃん。「あれ？子ども、肩車してデモに来てる。」あれ委員長じゃったんか」と。いやこりゃね、非常にドラマチックに言いたがるけえね、真っ赤な講釈師、見てきたようなウソを言いつう・・・（笑）。

<でも見たんでしょ> そうなんですよ。幼い子を肩車してデモに参加しちよる、「へえーとんでもねえオヤジがおるのお」と思うたんですわ（笑）。じゃけえ、ひょっとしたら、当たってるかもしれんね。人違いかもしれんが。

<いやいやそんなことはない（笑）。そしたらね、タケちゃんの前爆を見た話、それから玉音放送を聞いた、その戦後のいろんな経験で、そういうのを経てきて、そして今現在、タケちゃんは今の政治とか、この日本の情勢、それをどのように見るかということを>おお、それが関連しちよると思うんじゃがね、どーもね、年をとってから、田舎、この島暮らしじゃけえ。東京おった時にね、岸総理大臣が安保条約の調印に渡米したんよね。ほで、だいぶあとになってから、岸信

介様が、アメリカの CIA、中央情報局の創立者であるダレスと会談をしたとね、日本に CIA、中央情報局の出先機関を作ろうということで、安保条約の付録にね、岸信介が有り難く頂戴してきたという話が新聞報道やらにあったんですよ。

CIA 長官ダレスと、こんな密約か何約かしらねえが、スッパ抜きかなんかしらん。ほいで岸信介が“内閣調査室”という部門を設けたんよ。アメリカの CIA の出先機関を内閣に作っちよるんよ。

看板屋に勤めた時にね、五反田の駅の近くにね、喫茶店があったんよ。ほこで、落ち合うことにへて、仕事の話をおしが聞きに行く御役目をね、話しよったらね、通路を隔てた隣のね、アルカポネみたいな帽子をかざったおっさんがね、『パリ燃ゆ』（大佛次郎著）つう本を、カップ・ブックスやら、何版か、あがなものを読んで。「へえー、なかなかの、ロマンチックかなんかしらねえが、毛色の変ったおやじじゃのう」と。それがぶち背が高いんじゃ（笑）。仕事くれる会社のやつと話しよったらね、そこへね、女性、従業員が来てね、喫茶店の、「何々様、“内閣調査室”からお電話がありました」つて、こうゆうて来たんよ（笑）。仕事くれるその男と、「え、え、え」ちゆうてねえ、目をふたりとも白黒させてね、「え、あの噂の“内閣調査室”、おう」。ほで、やつが電話しに行ったあいだに、「おい、あれ、内閣調査室だってなあ」「そうだってねえ！」つて話になったんよ。

<その、その人は一人だったの？> 一人だった。「えー！、内閣調査室だってえ、見たかい？」つてよ（笑）。そいつも内閣調査室のこたあ知ってるけよ、「内閣調査室だって」て、ひそひそ話をしたことがあるんよ。もうひとつね、弟と夜に地下鉄に乗って帰りよったら、ホームをその背の高い男が歩きよったんよ。

<同じ人？> 同じやつ。背が高いけえね、突出して見えるんじゃ。

<それはでも日本人でしょ？> 日本人。何人かわきゃあわからんが、日本人の顔をしちよった。弟に「あの後ろの背の高い、あれこの前話したろうが、あの男だけ、内閣調査室の男だけ」つて（笑）。弟と自分らが降りる駅をやり過ごして、ほいつの後をつけようとしたんよ。ドラマチックじゃろう？

<ドラマチック、笑> 間抜けじゃけえねえ、忽然とわからんようになったんです。岸信介が創立ちゅうんか、ダレスの命令で作った、内閣調査室いうものを立ち上げたんじゃが、ほれがいつ消えたのか、継続しよるのかが、ちょっとわたしには掴めんのよ。彼らが地下へ潜ってるかもしれん。いろんな団体ちゅうんか、いろーんな人脈の懐柔工作ちゅんか、やってるんじゃないかと思うんよ。個人、団体の。たぶん莫大な裏金を使うてやりよるに違いないがね。懐柔やら。

<その CIA の、ダレス長官？アメリカの要請で作ったわけよねえ。そしたら日本政府の意向で無くしやしないよねえ、たぶん> うん。だから閣僚やら、政治家いうのは、その内閣調査室の、裏スキャンダルから全部掴まれちよる。首根っこを掴まれちよる。生きるも殺されるもこの内閣調査室と、A、あの“JCIA”よね

<J ?>

J、ジャパーン CIA。あの「コリア」、朝鮮の CIA もあったじゃん。あの金大中が拉致されたのも“KCIA”がやったことじゃん。

<あ、そうなんですか>金大中拉致したとき。彼らは深く静かに潜行しながら、例の破壊攪乱、ね、彼らのやる仕事、破壊、攪乱、諜報、ああ何だって、スパイ、いろんなことしよるに違いない。あれが消えた話は聞いたことがない。脈々と、深く静かに潜行して、日本をひょっとしたら、支配しよるかもしれん。

<日米地位協定の時の話で、実は国会よりも上で、アメリカの軍人と？日本の官僚とが会って、そこで決まりよるんじやっていう話が出たけどね>でしょう。だから、どういうたらええか、例えばアメリカの大統領選で、大統領の首をすげ替えるのは、CIA が得意芸つうんか。若一い頃ね、『CIA』つう、アメリカ人が書いた本をね、人が「おうこれ読んでみい」ゆうて（笑）、息もへずに読んだがね「おおおお」と。

<そのぐらいの力があるん>鼻血が出るぐらいね。国家予算を使ってるんだよ、CIA ちゅうんが莫大な国家予算を使ってた。ほの本の中にはそう書きちゃったんよ。若い時に読みよって、五反田で、喫茶店であったことよ、「内閣調査室からお電話がありました」ちて、「え、こいつが！ほんまの話や」と、そう思ったんよ。うん。ほで、あのトランプやら、前大統領、

<オバマ？>うん、あれが、選挙戦略やらあらゆることを、広告会社が。

<日本で言うと電通みたいなところ？>うんうん、あれが仕切っちゃるいう話を、広告会社がやりよるちゅう話を聞いてね、安倍と電通なんか、ポスターなんかも電通が関与しとるいう話がありよったんよ。凸版印刷とか。アメリカの真似が得意な安倍さんじゃけえ、電通とあれをもってるのは、そりゃそうだなあと。自分らの選挙の仕方やら政策やらなんか、電通が指令を出して、こうしなさい、こうしなさいつうんか。

<この前の選挙の時も、CM をたくさん流したのが自民党だってね>そーれよ。あのええ時間帯を電通やら博報堂が全部にぎってるのよ。うん。

<いわゆるゴールデンタイムみたいなところをね>そうなんですよ。若い時にね、広告会社へ行きよった時にね、そういう話は聞いちゃるんよ。ほいじゃけわしらの仕事、コマーシャル作る会社の、博報堂、電通の孫請けをやりよったもんね。いまの日本の状況つうんか、ミスターX いうたらへんだけど、仕掛け人つうんか、例えば電通とか、いまの内閣調査室とか、そういうグループらが、この日本を支配つんか・・・。

例えば、消費税をひくにしても、増税へるも「こうへい（こうしなさい）、こうへい」と。「閣議決定すればいいじゃん」ちゅうて、国会を通さず閣議決定なんて、ほういう芸当をやらしよるいうんか・・・。

<今回の選挙にしても、裏ワザっていうか、野党も考えられんかったでしょ？臨時国会ひらいた途端に、冒頭で解散するっていうね> 影のこの台本を書いたや

つがおるんだあ、と思うようになった。死ぬ前に言うちょかにやいけん。とにかく、この“内閣調査室”のことを、なんとしてでも皆さんにわかってほしいというのが、ありましてね。これがこのわが美しの国を破壊しよる。小池劇場もね、例えば電通らの仕掛け人の台本通りかや、と。あつという間に民進党が解党してしもうたね（笑）。「ほ一、すごいなこのオバハンは」て思うんじやが、誰の台本でやったんだらうなあ、これは。

日本が戦時中、天皇制をひいて特高警察いう組織があったよね。例えば安下庄の知り合いの男が戦時中にね、「あれ（この戦争）は侵略だあ」って近所のもんに言うたらね、それをどっから聞きつけたか、警察がおやじ殿を逮捕にきたん。へて何日か牢屋へぶち込まれちよったんよ。そういう話を聞いたことある。ほの特高警察の流れちゆうんか。

戦後、軍隊は解体したということになって、表向きは。ヤルタ会談、ポツダム会談、そこで連合国側が、日本の戦争勢力取り除くつう取り決めでね、アメリカの憲法学者やら何やらが、憲法草案いうんか、原稿書いたのを、日本の憲法学者らが検討して、いまの憲法ができたんじやん。「戦争しない！」という憲法作った。アメリカ軍が朝鮮戦争おっぱじめたときに、アメリカが「あの9条をなんとかせえ」つうてから、日本政府に迫ったつうんよ。ほで、“警察予備隊”とか、名前を次々と変えていまの“自衛隊”になって。アメリカの憲法学者が、この地球上で素晴らしい憲法を作ろういうんで必死になって草案を考えたんかもしれんね。ところが日本を利用しようと思うとる軍部らが、「あの憲法9条、あれいかんのう。直せ、ありゃあなんとかへえ」つて。ほで岸信介が中曾根、賀屋興宣とかと「自主憲法制定会議」いうのを作ったんよね。中曾根も戦犯じやがね。それが脈々つうんか、日本のなかに憲法変えようつう気運つうのを作るつうんか、大変なことやけどね。教科書問題で、あの育鵬社とか、あれらが「ありゃ侵略じやあない」という話を教科書に。（つづく）

爆音がひどいときは、苦情電話をかけてください。

周防大島町総務課 0820-74-1000（夜間も受付）

岩国市基地政策課 0827-29-5024（夜間 0827-29-5111）

防衛省中国四国防衛局 0827-21-6195

米海兵隊岩国航空基地 0827-79-5551

瀬戸内ネット学習会 2018年7月7日 13:00-15:00 岩国市福祉会館
日米地位協定をどうすればいいのか 講師 桑原 清 共同代表